

発表日：2016年8月26日

DLEプロデュースの実写映画『古都』
文部科学省特別選定作品に決定！
～主演：松雪泰子 共演：橋本愛、成海璃子
川端康成の不朽の名作が豪華キャストで現代に蘇る！～

株式会社ディー・エル・イー（本社：東京都千代田区、代表取締役：椎木隆太、以下、DLE）は、DLEが製作幹事・配給として実写映画化し、11月26日（土）に京都先行公開、12月3日（土）に全国公開する、川端康成の不朽の名作『古都』が文部科学省特別選定作品（青年向き、成人向き）、文部科学省選定（少年向き）に決定したことをお知らせいたします。

【文部科学省特別選定について】

文部科学省特別選定は、過去には日本アカデミー賞最優秀賞作品『愛を乞う人』（平山秀幸監督）や、東京国際映画祭4冠の『雪に願うこと』（根岸吉太郎監督）、『クライマーズ・ハイ』（原田真人監督）などその年の邦画を代表する作品が選出されており、非常に名誉ある評価とされています。



【映画「古都」について】

映画は1962年に新潮社より刊行された川端康成『古都』の現代版として、これまで多くの映像作品となってきた「古都」を、原作では描かれなかった大人になった主人公たちの物語として映像化しました。京都・パリ、二つの古都を舞台に繰り広げられる感動の物語となっています。京都伝統の呉服屋の姉と北山杉の里で働く双子の妹を主演の松雪泰子が一人二役で演じ、それぞれの娘役で橋本愛と成海璃子が共演。その他、蒼れいな、蒼あんな、葉山奨之、栗塚旭、伊原剛志、奥田瑛二らが脇を固めます。監督はハリウッドで8年映画作りを学び、帰国後もアレハンドロ・ゴンザレス・イニャリトウなど名匠の現場に参加後、CMやドラマで活躍し、本作が商業映画長編デビューとなる Yuki Saito です。

映画は日本が誇る圧倒的な京都の美しさ、凜とした『日本の精神』を五感で体感できる新しい作品に仕上げました。また、本作の舞台である四季折々の京都でオール京都の全面協力を得て撮影。劇中内で松雪泰子が着用する和装は宮内庁御用達の藤井寛の着物や山口美術織物の帯を使用、橋本愛着用の着物は川端康成本人が取材に訪れ、先代田畑喜八との交流を知る5代目田畑喜八が「古都」のためにデザインを手がけました。また裏千家今日庵が茶道のシーンで全面協力により、御家元より国宝級の道具を拝借し監修。華道のシーンでは池坊専好次期家元、禅のシーンでは妙心寺退蔵院 松山大耕副住職が自ら出演するなど、これまでにない究極の「ほんまもん」へのこだわりが随所に登場。2020年の東京オリンピックに向けて世界中から注目を浴びる日本の素晴らしさを再認識でき、世界に向け、さらに未来に向けて日本文化を継承・表現できる作品に仕上がっています。

■映画『古都』概要

原作：川端康成『古都』（新潮文庫刊）

出演：松雪泰子（一人二役）、橋本愛、成海璃子、蒼れいな、蒼あんな、葉山奨之、栗塚旭、迫田孝也／伊原剛志、奥田瑛二

監督：Yuki Saito

脚本：眞武泰徳／梶本恵美／Yuki Saito

題字：小林芙蓉

製作幹事・配給：DLE

企画／制作：and pictures

特別制作協力：beachwalkers.

後援：京都府、京都市、一般社団法人 京都経済同友会、京都商工会議所

支援：裏千家今日庵、一般財団法人 池坊華道会

協力：公益財団法人 川端康成記念會、特定非営利活動法人 遊悠舎京すずめ

©川端康成記念會/古都プロジェクト

■あらすじ

京都室町に先祖代々続く佐田呉服店。店を継いだ日から20年間、佐田千重子（松雪泰子）は同じ場所で変わらない生活を送っていた。古くから付き合いのある職人が次々廃業する変わりゆく時代の中で店をどうしていくのか、室町に生まれた宿命を娘の舞（橋本愛）に背負わせていいものか葛藤の中で生きていた。大学生の舞は、就職活動の時期に差し掛かり就職活動をするの友人との会話にも入りきれず、店を継ぐべきなのか迷っていた。

一方京都のはずれ、北山杉の里で林業を営む中田苗子（松雪泰子／二役）。千重子と同じ顔をした苗子は生き別れた双子の妹。苗子もまた深刻な経営悪化に陥っていた。苗子の娘の結衣（成海璃子）はその美術の才能を活かし北山杉を使い何か新しいことが出来ないかとフランスに留学。しかし留学先で他の学生との力の差を感じ、無力感に苛まれていた。それを感じとった苗子は娘に会う為にパリ行きを決意する。

呉服屋の娘の舞もパリで開催される日本文化を披露するイベントに参加する為にパリへ向かう事となった。母から娘へ受け継がれる伝統。今、京都の伝統に生きる2組の母娘の人生が初めて交差する一。

【DLEの実写映画プロデュースの目的】

DLEは唯一無二のCool Japanカンパニーとして、実写映画も含めた様々なメディアに応じた映像コンテンツのプロデュースへと事業領域を拡大していきます。DLEが幹事として製作委員会を組成するほか、映像コンテンツへの出資を積極的に行っていきます。特に実写映画プロデュースでは、下記の3つを大きな柱として考えています。

（1）地方創生事業との連動

「秘密結社 鷹の爪」や「パンパカパンツ」等を通して、DLEがキャラクタービジネスで地方都市との連携事業で培ってきた、ノウハウ、ネットワークを実写の映像ビジネスへの活用を広げて、地方都市の公共機関や民間企業と連携しながら、映像ビジネスを絡めた地方創生事業として推進していきます。

（2）キャラクタービジネスによる多面的な収益スキーム

DLEの強みである、キャラクタービジネスを取り入れていくことにより、特に実写の映像ビジネスで陥りやすい、映像販売でしか収益を見込めないスキームではなく、多面的な収益モデルを目指します。さらに、キャラクターを実写映画で活用することで従来のアニメファン層よりも幅広い層へのリーチを目指します。また、映画等ではキャラクターの宣伝起用も盛り込むことで、企業広告等、宣伝プランの幅を広げた、映像プロデュースを推進していきます。

（3）コンテンツ大国「日本」に眠る原作、カルチャーを国内外に向けてリプロデュース

そのまま映画化してもなかなか現代のユーザーへ届けることが難しいIP（原作等の知的財産）を、現代の人が楽しめるコンテンツとして、DLEがリプロデュースすることで国内外への付加価値を高め、過去作品の再展開を求めているIPホルダーの要望に応えていきます。

■株式会社ディー・エル・イー 会社概要

IP（著作権や商標権等の知的財産権）を開発・取得し、幅広い事業領域へサービスを提供する総合エンタテインメントカンパニー。動画広告等のマーケティングサービス提供、スマートフォンアプリの企画開発、映画・TV・ネットメディア等の映像コンテンツ制作等、時流に乗ったサービスを迅速かつ低コストで量産することで、2014年に東証マザーズ、2016年に東証一部へ上場。

アニメ・キャラクター（秘密結社 鷹の爪、パンパカパンツ、貝社員等）やファッション・ビューティー（東京ガールズコレクション）といった日本が誇れるエンタメコンテンツを包括的に保有し、地方創生、海外展開などを積極的に推進する。

本件に関するお問合せ：株式会社ディー・エル・イー (<http://www.dle.jp/>)

TEL：03-3221-3980 FAX：03-3221-3690 email：ir@dle.jp IR担当：深瀬